



薬局・薬剤師のためのニュースメディア

HARMACY NEWSBREAK

薬経連・山村会長 かかりつけ指導料、アウトカム評価へ「対象患者設定を」

中小薬局で組織している保険薬局経営者連合会（薬経連）の山村真一会長は24日、東京都内で開いたフォーラム終了後の記者会見で、4月の調剤報酬改定で新設された「かかりつけ薬剤師指導料」について、対象患者を設定することによって、アウトカム評価をできるようにすべきとの考えを示した。

【写真】記者会見する薬経連の山村会長

会見で、山村会長は「そもそも、かかりつけ薬剤師というのは概念。それに算定要件を付けなければいけなくなったので、付けた側としても苦労があったと思うが、もともと無理があった」との認識を示した。

その上で、「時間切れでつくったせいもあるが、もともと指導が必要な患者群があって、そこに薬剤師が関与することによって、患者に対する薬学的指導はもちろん、結果的に薬物の適正使用によるコストダウンができたり、症状を悪化させないといった結果が求められていたのではないかと述べ、今回、かかりつけの対象患者を設けなかったために20～30代の指導の必要度が低い若年層からもかかりつけ薬剤師の同意書を取っている可能性もあるとし、現状ではアウトカム評価ができないと述べた。

